



# ふじみ

## 第153号

平成30年1月1日

社会福祉法人みちのく協会  
 理事長 工藤和子  
 特別養護老人ホーム富士見荘  
 ケアハウスアーベイン八幡平  
 松尾デイサービスセンター  
 介護相談所陽だまり  
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)  
 地域密着型介護老人福祉施設はからの里  
 岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1  
 電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467  
 E-mail fujimiso@rnac.ne.jp  
 URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

題字：福田 常雄 氏

### 「年頭にあたって」

社会福祉法人みちのく協会

理事長 工藤和子

新年あけましておめでとうございます。ます。

穏やかな年明けを迎えられたことを感謝し、皆様と共に喜びたいと思います。

みちのく協会は、昭和四十九年に開設以来、地域をはじめ多くの皆様方から支えられ、指定介護老人福祉施設「富士見荘」を中心に、ご高齢の方々のご生活と命を守る仕事に取り組んでまいりました。今日まで大過なく事業を続けてこられたのも皆様方のご支援があったからこそと改めて感謝申し上げます。

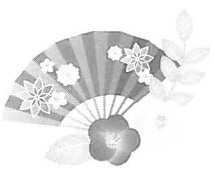
さて、ふりかえってみますと昨年は、社会福祉法人にとって道しるべとなる「社会福祉法」の改正があり、社会福祉法人の透明性や健全性が強く求められ、また、地域への貢献の

あり方が課題となって、その取り組みが重要になってまいりました。

一方、東日本大震災の復興のさなか、昨年、一昨年と台風が岩手を襲いました。当法人の各事業所には被害らしい被害はなかったものの自然災害の脅威を痛感し、災害対策の大切さと災害復旧に向けて、社会福祉法人としての役割を改めて認識することになりました。

このように、社会福祉法人を取り巻く環境は刻々変化し、臨機な対応が求められております。

みちのく協会は、このような変化に柔軟に対応しつつ、各事業所をご利用されている皆様、そのご家族をはじめ広く地域の皆様のご要望にこたえられるよう職員一体となって取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 謹賀新年

社会福祉法人みちのく協会

理事長 工藤和子 (八幡平市)

常務理事 箱石裕 (八幡平市)

理事 関口匠子 (八幡平市)

理事 一ノ宮嘉道 (八幡平市)

葛川行彦 (八幡平市)

中川剛一 (矢巾町)

監事 中軽米明彦 (八幡平市)

藤田昭利 (花巻市)

道尻和彦 (八幡平市)

平山順子 (八幡平市)

立柳秀範 (八幡平市)

田村恵美子 (八幡平市)

高橋京一 (八幡平市)

佐々久幸 (滝沢市)

中軽米こう子 (八幡平市)

西館政美 (盛岡市)

評議員

特別養護老人ホーム

# 富士見荘

☎(0195) 78-2455

## 富士見荘クリスマス会

十二月十一日に富士見荘でクリスマス会が開催されました。お昼にホールで豪華なお寿司を食べ、職員が身体を張った余興で盛り上がりました。夏祭りにさんさ踊りで太鼓を披露した富士見荘のミス太鼓がクリスマス会では舞踊を披露し、ベテラン職員、若手職員によるダンスも入居者様から拍手喝采をいただきました。理事長からクリスマスプレゼントもありましたが、ビルだど期待して残念がっている方もいらっしゃいました(笑)



たくさんのお慰問ありがとうございます！

秋にオカリナ、松野小学校、柏台小学校から多くの方が慰問に来てくださいました。オカリナ教室では演奏をみんなで聞き、そのあとは歌を歌いました。松野小学校の子供たちはハンドベルで上手に演奏を披露してくれ、一生懸命育てたジャガイモをプレゼントしてくれました。柏台小学校の子供たちは楽器を使った演奏や歌を歌ってくれました。また入居者様と交流するために絵本の朗読や折り紙など子供たちが考えた方法で交流し、入居者様にも笑顔が溢れていました。

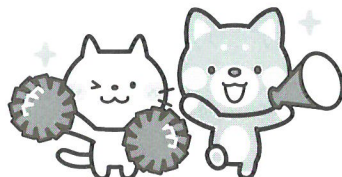
### オカリナ演奏会



### 松野小学校



### 柏台小学校



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎(0195)  
68-7880

## 「新年のごあいさつ」

地域密着型介護老人福祉施設 はらからの里

施設長 三戸 明裕

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は、当施設の事業運営に対し、皆様方から温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、七月に発生した九州北部豪雨により、尊い命が奪われました。一昨年には、同じ九州地方で熊本地震が発生し、全国各地で台風、集中豪雨等による自然災害が多数発生していることに鑑み、川のほとりにある「はらからの里」の利用者の生命の安全を考えると、いつ、この様な災害が起きるのか予測ができません。明日は我が身と思つて、日頃から災害に対する備えをしておく事が大切であると、改めて考えております。

月日が経つのは早いもので、はらからの里は、今年で四年目となります。その間、私達は、故関口知男前理事長が、寅さんで有名な山田洋次映画監督の作品から頂いた「はらからの里」由来の名の意思に込めるべく、施設の住環境の充実に取り組んでいるところであります。

そのひとつが、介護力向上のために行っている自立支援介護の勉強会であります。先進地施設の方を講師に招き、二ヶ月に一回のペースで行っております。全国老人福祉施設協議会において、「介護職の育成が利用者の利益に繋がる」と言っていることから、このような勉強会を通して、「単なるお世話の介護」から「自立支援介護」への変化に備えているとともに、職員の人材育成を行っております。

今年も、三年ごとに見直しされる介護報酬改定の年であります。私達にとって、施設の事業運営や職員の処遇改善に直接影響を及ぼす重要な年でもあります。平成十二年は一・二%と引き上げられましたが、平成十五年は二・二七%と大幅に引き下げられた影響から、多くの事業所が倒産に追い込まれました。全国老人福祉施設協議会においても、三三・八%の施設が赤字経営になったと報告されるなど、介護の現場に深刻な影響を与えております。また、今年も、医療の診療報酬も同時改定されますが、介護報酬においては、微増に引き上げられるといわれておりますので、何かほっとした感がありますが、その一方で利用者の利用負担や国民の介護保険料の増加が予測され、その分、それに見合うサービスを提供することが、より重要になってくると考えております。

「介護」とは、自立支援をする活動であり、心身に障害を負った人々が少しでも自立した状態に近づけること、相手の自立を支援する一連の行動を指します。しかしながら、車椅子を押ししたり、排泄、入浴を手伝ったりする個別的な事柄が介護であると誤解されがちであります。

英語では「介護」を「ケア」と言います。個別の自立のための共助（助け合い）のことを指している言葉であり、社会において誰もが、誰かの自立を「ケア」しております。

ある日の会議において、「自分もいつかは、介護が必要になるかもしれないし、実際に今も様々な方にお世話になってる。皆さんにおかれても、お互い様と思つて、利用者が必要としている事は何か」を考えて欲しいと語られた職員に全職員が感動しました。

このような思いが、利用者ケアの向上に繋がりを、利用者が安心した生活が送れるものと思つていまして、同時に、介護現場で働く職員の矜持に繋がるものと考えております。

結びに、新たな年が皆様にとって、深々と降り積もる雪のように、たくさんの方の幸せが降り注ぐことをお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



株式会社ユニバース様「愛のチャリティー募金」により、福祉用具を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

# 松尾デイサービスセンターだより

☎(0195) 78-3720

皆様におかれましては佳き新年をお迎えのことと存じます。

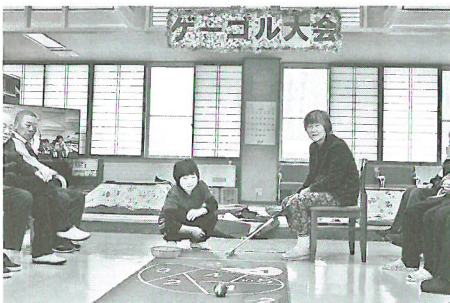
平成三十年は、ささやかではあります但し個人的に楽しみな事があります。六月十四日から一か月にわたり開催されるワールドカップロシア大会です。日本はポーランド、セネガル、コロンビアと戦うグループHですが、戦いやささから言えばグループAかCだったかななんて思っています。

いずれにしてもグループリーグでは負けないで決勝トーナメントまで行って欲しいと願っていますし、別な楽しみ方もあるのでいまから待ち遠しいです。日本戦は当然応援するのですが、各国から有名な選手が出演し、虻負する選手や国があるので、応援し華麗なプレーに酔いしれようと思います。

さて、仕事に目を転ずると、三十年度は医療・介護報酬の同時改定が行われ、介護はより厳しさを増すようです。特に通所介護は全国的に見ても収支差率が高いことが指摘され、厳しい財源抑制の標的となっています。二八年度の松尾デイの収支差率は十二・二%で全国平均十六・三%を下回っています。自らを尺度に全国平均を考えると本当にそんなに収支差率が高いのかと松尾デイの低さにちよつとがっかりしています。しかし、国が考える尺度からしたら適正なのかなとも思えるのです。そんな状況ですから三十年度の報酬改定はひやひやしながら待ちたいと思います。

## 秋の大運動会

九月二十四日(日)～三十日(土) 秋晴れの下と言いたい所ですが、デイサービスのホールで昨年に引き続き運動会が行われました。今年は利用者様に座ったままで出来るゲーム、玉入れ、風船パタパタ、景品争奪三十五本引き、職員風船割りで盛り上がりました。中でも職員風船割りは、風船が木端微塵になるなど予想以上の迫力でした。泣き笑いの楽しい一週間となりました。



## ゲール大会

松尾デイサービス恒例のゲール大会が十一月五日(日)～十一日(土)に行われました。一週間の練習を経ての本大会が行われ、毎朝の挨拶で「上位入賞者には豪華景品があります」と職員に言われ、やる気を出したか否かはさだかではありませんが、白熱した戦いが繰り広げられました。上位入賞者は左記の方々です。

- 一位 松尾 ナミ 様
- 二位 高橋 レイ 様
- 三位 田村 フミ 様
- 高橋 ソメ 様
- 中軽米 新吉 様

おめでとうございました。

## 新人職員紹介

田村 明美

11月13日よりデイサービス勤務をして約1か月が経ちました。

利用者さんには挨拶を始め話かけてもらい楽しく仕事をしております。まだまだ不慣れで利用者さんへは御不便をおかけしておりますが今後ともよろしく願いたします。

リゾート型ケアハウス  
**アーベイン八幡平**  
 ☎(0195) 78-2710

### 「新年を迎えて」

ケアハウスアーベイン八幡平  
 施設長 箱石 裕

新年あけましておめでとうございます。

アーベイン八幡平も又新しい年をさわやかな風のもとで、新たな気持ちで迎えられたことを嬉しく思います。

このような気持ちで迎えられるのも、何より入居の皆様が元気ですこやかな毎日を積み重ねている姿があるからです。

この姿の源は、入居の皆様の積極的な活動にあります。アーベイン八幡平の中の生活は単に居室と食堂の往復ではなく、部屋の中でも、食堂のフロアでも何かしらの活動にいきしみ変化のある時間を創造していきましょうとするところに主眼を置いていきます。

そのために、健康体操の指導の先生、ピアノ演奏の先生、歌唱指導の先生、吹矢の先生、布アートの先生など多くの外部の講師陣の助けを借りながら趣味創作活動を展開し、さ

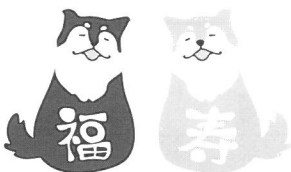
らに、おひとりおひとりの生活をサポートする買物ツアーや医療機関などへの送迎サービスなどを組み合わせ、できる限り臨機に、そして立体的な生活空間を作るような環境の提供に努めています。

一方で、入居の皆様の中には年重ねる毎に、病いや身体機能の衰えなど、どうしても活動が鈍くなる傾向が生ずることは止むを得ないことかもしれません。しかし、全く活動が困難になるというものでもありませんから、その状況に応じた環境を用意することが大切になります。

このような日常は、継続こそがそのエネルギーであり、心を豊かにする源でもあります。

新たな年を迎えて、今までを振りかえり、新たな年の目標の糧になるようにしたいものです。

本年は「戌年」です。軽やかに躍動する犬をイメージし、さらに躍進の年になるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお祈りします。



### 「アーベイン旅日記〜夏から秋〜」

ケアハウスアーベイン八幡平では、月に一度を目途に、ドライブ行事を企画し行っています。今回は「ケアハウス旅日記」と題しまして、その様子を少しご紹介させていただきます。

#### 【八食センタードライブ】

昨年九月十二日に、毎年恒例の青森県八戸市の八食センターへのドライブ行事がありました。新鮮な野菜や果物、そして海産物が盛りだくさんの八食センターへのドライブは、毎年入居者の皆様も楽しみにされている恒例行事です。美味しいお寿司を食べたり、買い物もされたり皆様それぞれの楽しみ方があるようです。外出することで良い気分転換にもなりますし、「ドライブ行事に参加できるようにいつまでも元気でいなくちゃ」という声も聞かれ、ケアハウスアーベイン八幡平の皆様の活力の一つとなっています。



「四季の移ろいを感じて」  
 ～布アート活動紹介～

アクティビティ活動の一環として、アクティビティブロデューサーである佐藤典子先生のご指導のもと、当施設では毎月第二・第四水曜日に「布アート」を行っています。一から布を貼り、絵を完成させるもので、四季折々のモチーフを作成して入居者の皆様と季節を感じ、楽しみながら活動を行っています。作り甲斐のあるモチーフを完成させると自然と笑顔が溢れ、達成感もひとしおです。手先の運動、頭の運動と、皆様一生懸命に取り組んでおられます。

こうした活動からも、四季の移ろいを感じることができるとのなと思っ、今日この頃です。

# 愛

筆談

題字 関口作治氏

## 社会福祉法人 みのく協会 基本理念

社会福祉法人みのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切に、心とこめた介護をいたします。

### 富士見荘の動き

10	5	柏台地区清掃活動
	13	総合避難訓練
	18	オカリナ演奏
	21	金沢健康教室
11	2	松野小学校慰問
	8	喫茶の日
	21	金沢健康教室
	29	柏台小学校慰問
12	11	クリスマス会

### 富士見荘利用者状況

(平成29年12月1日現在)

市町村	男	女	計
八幡平市	14	54	68
岩手町	0	4	4
その他市町村	0	1	1
合計	14	59	73

### 富士見荘短期入所生活介護

市町村	10月	11月	12月
八幡平市	230	214	271
他市町村	8	8	9
合計	238	222	280

### 富士見荘入退居者状況

入居者	10月	4	(0)	退居者	4	(0)
	11月	4	(0)		1	(0)
	12月	4	(0)		2	(0)

※入居( )内は再入居。退居( )内は死亡。  
※平成29年12月15日現在のもの

### 配食サービス

人数	月	10月	11月	12月
利用者数		277	277	251

### 編集後記



あけましておめでとーございませう。今年も社会福祉法人みのく協会を何卒よろしくお願い致します。

新年といえば、「一富士二鷹三茄子」のめでたい初夢がありますね。これらがなせめでたいかというところ、由来は「徳川家康がこの三つを好んでいたから」「徳川家康のお膝元であった駿河国で高い物の順」「富士は日本一の山、鷹は賢くて強い鳥、茄子は事を成す」など諸説あるようです。これらは有名ですが、この初夢につづきがあるのをご存知ですか？「四扇(しせん、しおうぎ)五煙草(ごたばこ)六座頭(ろくざとう)」と続くそうです。四の扇は末広がりであることから、五の煙草は煙が上へと昇る様子が運氣上昇を思わせることから縁起が良いとされているようで、六の座頭は剃髪した琵琶法師の座に所属する者のことを指すらしく、「毛がない(怪我ない)」にかけているのだとか。みなさんは、どのような初夢を見ましたか？どんな夢にせよ、今年一年が良いお年でありますように。

(関川)